



## 群馬県のような魅力ある商品を都内バイヤーにPR 都内で群馬県の地場産品商談会が開催！

### ぐんま地場産業フェスタ2019 in TOKYO

- 期日：2月6日(水)
- 場所：TOC有明 4階 コンベンションホール
- 主催：群馬県、(株)群馬銀行、(株)東和銀行、群馬県地場産業振興協議会
- 内容：群馬県の地場産品の展示商談会

### 東京で7回目の本県地場産品商談会！

群馬県の優れた地場産品を扱う企業や団体を一堂に集めた「ぐんま地場産業フェスタ 2019 in TOKYO」が開催されました。これは、首都圏のバイヤーを対象に、本県地場産品の魅力をPRするとともにさらなる商取引の拡大を図ろうとするものです。今年は100社（食品75社、繊維3社、木工・家具4社、雑貨・工芸品18社）が出展し、各社自慢の商品を提案しました。

雑貨・工芸品ブースでは、だるま屋さく（高崎市）が「今までになかっただるま」をテーマに伝統ある高崎だるまをベースとした様々なオリジナルだるまを、また、(株)シーエスラボ（館林市）は館林市産ポイセンベリーから抽出したオリジナルエッセンスを配合した「濃い化粧水」等を出展しました。

今回は、イベントの定着化や関係団体への協力依頼強化等により過去最高の513名が来場し、予約商談も218件行われました。出展者からは「こだわりのあるバイヤーが多かったので良かった」、「バイヤーさんの意見を頂く機会が多かったので参考にしたい」など満足度が高く、来場者アンケートでも概ね好評価でした。

### 食品は昨年を上回る75社が出展！

食品ブースは昨年を上回る75社から出展があり、そのうち14社（写真の4社含む）が初出展でした。

石井メイドオリジナル（昭和村）はオリジナル製法を加えて作った生芋100%で生のまま刺身で食べられる製品やこんにやくの臭いを極力抑え白玉のようにデザートで食べられるこだわりこんにやくを出展しました。エバーグリーンファーム（株）（明和村）は減農薬・有機肥料で育てられた自社農園産いちじく100%で食品添加物不使用で作られたコンポートやジャム等の様々ないちじく加工品を、パティスリー ルカドゥー（伊勢崎市）は川場村にある永井酒造の「水芭蕉」を使用した日本酒の香りが豊かで滑らかな舌触りが特徴の「水芭蕉ジュレ」や各種マカロンを、(株)三光ファーム（高崎市）からアイメック農法という特殊なフィルムを使用した方法で作られた糖度11度以上のミニトマトやトマトジュース等をそれぞれ出展しました。各ブースともに群馬県産にこだわった様々な商品がPRされ、都内のバイヤー等と盛んに意見交換していました。



会場の様子



雑貨・工芸品ブース例（だるま屋さく）



ぐんまちゃんもPR



新規出店ブース例（左から石井メイドオリジナル、エバーグリーンファーム(株)、パティスリー ルカドゥー、(株)三光ファーム）